

シンセサイザーは、どの楽器よりも多くのスペクトラムを持っている。

僕たちは燃えつきた灰から飛び立つ不死鳥だ。

僕はストレートにプレイすることが好きだ。

僕らの頭の中にある“絵”を、いかに音で発現するか。それが僕らの挑戦だった。

僕にはミュージシャン・シップが必要なんだ。僕は決してそれを忘れたくない。

音楽には驚きの要素がとても大切だ。

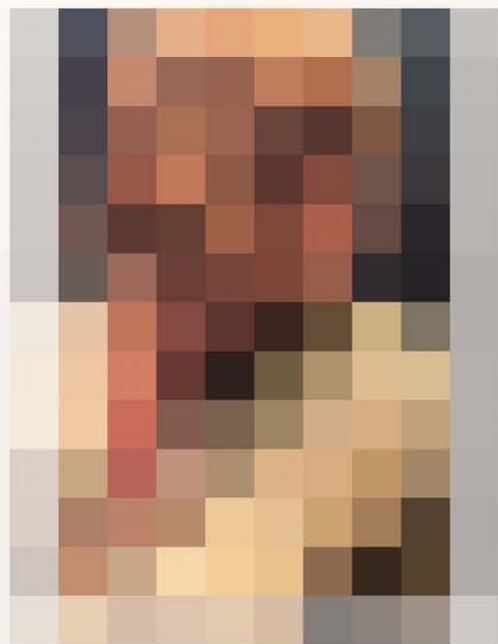
僕はたえず音楽的に前進していなければならないんだ。僕は他の方法で自分を磨くことができないからね。

自然な形でみんなにインプレッションと驚きを与えることが問題なんだ。

僕がステージでやることは、いつも僕の一部なんだ。

僕らがやろうとしているのは、観客をヤンヤと言わせるような事じゃない。

キース・エマーソン、1944年生まれ。キーボードプレイヤーとして、世界的な活躍を続ける。



小さな回路にも音楽のエネルギーが流れる。技術のコルグ。